

# 日本福祉文化学会 中部東海ブロック通信 第10号

担当理事：〒425-0041 静岡県焼津市石津 751-1 平田 厚 Email: [monogusa-tomy@theia.con.ne.jp](mailto:monogusa-tomy@theia.con.ne.jp)

## 第2回中部東海ブロック大会に向けて

### 第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会 第6回実行委員会での方向性確認

2019年11月30日、12月1日の2日間、中京大学名古屋キャンパスセンタービル6Fを会場に開催した「第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会」は、当初の基本計画に基づき、地元名古屋市をはじめ近隣県市学会会員等31名で組織化した実行委員会の精力的な運営により無事終了した。なんと、参加者は久々に165名で盛況であった。

このたび、学会大会を総括する第6回実行委員会を開催し、出席した各委員から当日を振り返りながら、改めて「いかに、福祉文化を市民化出来るか」「学会大会の運営のあり方」「学会大会から学んだもの」を語り合った。今回の第30回大会を2019年度の重要な「学会ブロック活動」と位置付けとし、積み重ねてきた「実行委員会」をある意味で、「ブロック会員研修の場」として取り組む努力をした。

「ブロック通信」により、学会大会当日に向けた実行委員会の議論を伝えると共に、いつでも、実行委員会に参画できる呼び掛けをしてきた。

こうした、貴重な実践的体験的取組みにより、「学会のブロック活動のあり方」について、課題を浮き彫りにし、これまでを振り返るとともに、これからいかに創りあげ、次世代につなげていくかを考える機会にもなった。第6回実行委員会で、読み取れた主な論点は…

- (1) 学会大会をどの視点で組み立てていくか【現学会会員と非会員のそれぞれの求めるものが違う】
- (2) いかにして「学会」「福祉文化」を市民化するか【「わかる化」「見える化」「見せる化」の課題】
- (3) 福祉文化的演出には、ゆとりある空間的環境を大いに活かすことが大切である
- (4) 参加者165名の分析が必要【会員・非会員別、県別（特に、開催地元参加者）、地元努力の評価】
- (5) 広報啓発は、期限ありきではなく、最後の最後まで、一人一人に伝える会員の努力が成果を見る
- (6) ビジネス的展開が必要である【財源確保と福祉文化事業の意義を働きかけて「社会を福祉化する」努力】
- (7) 協働による総合的運営の実現
- (8) 会場の一体化による円滑な運営効果

また、今回の第30回学会大会に関わり、「関係者だけの学びではなく、学会大会を契機に、市民への学会啓発」「新規学会会員による大会運営と柔軟性」「コーナー企画の創出」「学生の運営参加と学びの場の提供」「企業との協働の演出」「社会福祉法人との協働の呼び掛け」「福祉文化的演出の進行プログラム」「プロセス重視の大会の見える化」「地域社会への啓発の努力」「学会と開催地元との連絡調整機能」「全面的な大学全体の会場・機材提供による成果」「関連資料の効果」「アトラクション」「記録の確実化」「学会大会をブロック活動の起点にする努力」「地域力の発揮」「楽しいを創造する福祉文化」「つながる福祉文化」を学び合うことが出来た。

これから、ブロック活動の課題として①創る福祉文化、②生み出す福祉文化、③プロセス重視の福祉文化、④専門性と市民性の融合 なども浮かび上がった。



中部東海ブロック活動はこれまでどのような取り組みをしてきたかを合わせて振り返る機会にもなった第30回東海大会。「これまでとこれからのブロック活動」について、関わってきた立場で課題の整理をした。

- ✓ いかに関わりを深められるか
  - ✓ 新規会員の参画とともに、会員のブロック活動への期待
  - ✓ 学会大会を契機に生み出したブロック大会の行く末を見える化していく
    - \* 「ブロック大会」のイメージは大きい、「福祉文化を広く市民啓発につなげる公開型セミナーの取り組み」
  - ✓ 広範囲のブロック活動をいかに有効に活用していくことができるか
- 学会研究紀要第29号に雑感を投稿した。

## 第2回中部東海ブロック大会(名古屋現場セミナー)

### 9月5日(土)名古屋市昭和区八事八事興正寺ホールで開催決定

第30回学会大会を総括した第6回実行委員会において、地元名古屋市中心の学会会員の熱い思いで、成果をあげた「第30回東海大会(第1回中部東海ブロック大会)」。今回の大会を契機に、さらに、「名古屋発福祉文化元年」を発展させていただくことを強く要請し、引き続き、ご支援をいただき「第2回中部東海ブロック大会」の実現に向けた協議をしていただいた。

第31回学会大会全国大会沖縄大会(2020年11月28日(土)・29日(日))につなげていくために、地元の事業と連携し、9月5日(土)に開催を決めていただいた。

今回の学会大会で、「一般市民に十分、福祉文化を伝えきれなかった」「学会会員自らが、しっかりと呼び掛けをすることが必要」という意見があったが、こうした貴重な意見も含めて、「第2回ブロック大会」に向けて、一般市民と共に「福祉文化を創造」する、公開型とし、併せて「名古屋福祉文化現場セミナー」としてこれから準備に取りかかる。



- 開催日時：2020(令和2)年9月5日(土) 10:00~16:00(6H)
- 開催会場：八事山興正寺(名古屋市昭和区八事本町78)

2020年度ブロック活動計画を、下記の通り提示している。

月	活 動 内 容
04月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学会事務局との連絡調整及び報告(常時実施)</li> <li>➢ 学会ブロック会員へのアンケート実施(今後のブロック活動に向けて)</li> </ul>
05月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 3年次ブロック活動計画確認</li> <li>➢ 第2回中部東海ブロック大会開催検討 学会ブロック会員へのアンケート回収考察</li> </ul>
06月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学会理事会出席 各ブロック活動状況把握 ブロック活動事務手続き</li> </ul>
07月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「ブロック通信第11号」発行(活動計画, アンケート結果報告と今後の方向性)</li> </ul>
08月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第2回中部東海ブロック大会開催の具体化協議</li> </ul>
09月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第2回中部東海ブロック大会開催実現(検討)</li> <li>➢ 「ブロック通信第12号」発行(第2回中部東海ブロック大会開催状況報告)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第31回学会全国大会への対応(開催時期未定・会場：沖縄県決定)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第31回学会全国大会(11月28日~29日沖縄県開催決定)ブロック会員意見交換会開催</li> <li>➢ 各学会ブロック会員連絡調整担当者呼び掛け/連絡調整</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「ブロック通信第13号」発行(各県の活動状況紹介, 第8期に向けて)引き継ぎ準備</li> </ul>
01月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 次期役員への引き継ぎの具体化</li> </ul>
02月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学会事務局との連絡調整(理事会) ブロック活動実施報告書(第7期総括含む)提出</li> </ul>
03月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「ブロック通信第14号」発行(理事会報告・3年間の総括) 書面をもって引き継ぐ</li> </ul>